

新しくなった機能訓練室でのリハビリは、 入所者のモチベーションも上がる



セラピストとともに楽しみながら残存機能の維持に努める



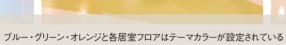
なくスムーズに行えた。これは、中田さんら現場ス

同施設への引っ越し当日、

入所者が混乱すること

ッフの手厚いケアの賜物と言えるだろう。









適性と安全性の への移転を機に -を見直

率は30%超と全国平均を上回った値で推移している

施設、

特別養護老人

護老人保健施設は1

にもかかわらず、

介

介護保険が利用でき

ムは5

施設と、

の中南部に位置しており、

人口は約12万人。高齢化

南河内と呼ばれる府

同院のある大阪府松原市は、

かな生活を支え続けている。

念に基づき、「断らない医療」を展開している医療法

全国に75の病院を有し、「生命だけは平等だ」の理

人徳洲会。その第1号病院となる松原徳洲会病院

(前・徳田病院)は、

1973年の開設以来、

地域の

かかりつけ病院、として半世紀にわたって人々の健

両面を整備 が現状だ。 域と比べて少ないの 老人保健施設(以下、 る入所施設が他の地

老健) である 「松原徳

市内で唯一の介護

期医療に重きを置く同院の後方支援の一翼を担って 洲苑」(定員15 とっての安心感も大きかったという。 な連携が期待できることから入所者本人や家族に きた。院内に併設された環境は、医療・ 開設から25年の節目を迎えた今年、 病院と自宅の中間施設として、救急医療・急性 98年に同院内に開 老健のフロ 介護の円滑

が訪れる。同院が増床することになり、 アは病棟に改築されることが決定。それに伴い、 同

施設は院外に新築移転する運びとなったのだ。そう した経緯から今年10月、 プンに至った。 同院から徒歩2分の立地に

務める総看護師長の中田奈美さんはこう話す。 が差し込んでくる心地よい空間だ。同施設の統括を 「これまでは病院内に併設されていたので無機質な 地上5階建て館内に入ると、 た中庭を囲む大きな窓が目を引く。 建物の中 明るい自然光 心に設けら

階から入所者様が快適にすごしていただける空間づ 雰囲気でした。新築移転するにあたって、 りについて検討を重ねまし 設計の段

がっているという。浴室はスーパ 認識しやすくなる。重度者の多い2階にはウッ ら4階の居室フロアは、2階はブルー(海)、3階は 新しくなったことで入所者のモチベー 在宅復帰の促進に力を注いでいるが、 を配置。「在宅強化型老健」の同施設では、入所者の ように、 入所者のAD ・階には共有スペースとして、 を設定。これにより、 大浴場のほかに最新の特殊浴槽も完備して いただきたいと考えました」と中田さんが話 「温泉に来たみたいやわ」と入所者からも好 館内の随所に優 「重度の入所者様に少しで 4階はオレンジ(太陽)とテー Lへの配慮がうかがえる。 入所者も自身のフロアを しさが感じられる。 機能訓練室や浴室 -銭湯風の設えが 機能訓練室が ションも上 2 階 か -マカ

3 介護ビジョン December 2023 (C) 2023 日本医療企画